

栃木市市民会議 全体会 会議要旨

日 時： 令和5年9月28日（木） 午後7時～8時30分
会 場： 栃木市役所 正庁
出席者数： 委員35名、事務局10名

1 開会

2 あいさつ

会 長： この市民会議は平成24年10月からスタートしている。この9月で丸10年である。6期目に入っており半数の方が入れ替わるので約200名近い市民の方がこの市民会議に関わっていることになる。

本日は令和4年度に栃木市が実施した事業について、総合計画部会から外部評価のご報告をいただくという内容である。

本年度から委員になられて、かつ自治基本条例部会の方は非常に分厚い資料がご自宅に届いて大変びっくりされた事かと思うが、栃木市のほとんどの事業がこの中に表現されており、それが適切であったかを職員の方がまず評価をし、その後市民の目で精査するというようになっており、その作業は大変膨大なことだったと思う。ご指導に当たられた中村先生大変ご苦労様でした。

報告の時間が長丁場になるかと思うが、栃木市がどういう事業をどういう方向性を持ってやっているかを知る貴重な機会であるので、それぞれのグループから報告をしっかりと聞きいただき、場合によっては質問をしていただくマンネリ化しない運営になるかと思うので、よろしくお願ひしたい。

3 議事

1) 議題1（総合計画部会外部評価について）

部会長より総括

部会長： 総合計画部会の方々にとっては今日はハレの日、集大成の日だと思う。三橋会長からも膨大という話があったが、単位施策だけでなくそれぞれの成果指標が単位施策ごとに複数あり、単位施策を達成するための事務事業までを掘り下げて、各グループが皆さんの知恵を出し切って行ったということである。

担当職員の方と向き合って、お互いにやり取りをしながら、作成したもので、外部評価欄は一見あっさり書いてあるように見えるが、この文面こそが協働の賜物だったのではないか。

所管課の方が来てくださったり、バックアップし環境を整えていただいている中で今日の日を迎えたということである。指導というありがたい言葉も

あったが、逆に私が学ばせていただいたというところ。

行政の専門的な用語が並んでいるので意見を言えと言われても難しいという場面もあった。そういう時に委員の方の気持ちを汲んで職員の方がこういうことですねと言葉を作り上げて行ったり、あるいは付箋紙にびっしりお考えを書いて出席していただいているという方もいた。ほんとにすごいことだと思った。

そういった意味では協働の実践として、学・官・民の協奏曲のようなことができた。それが第一の協働の実践だとしたら、今日の発表はエッセンスの詰まった中身になっており、栃木市の都市行政サービスの全てを網羅していて、今日の各グループのご報告を聞かせてもらうだけで、次のステップの協働の実践だと思う。

集大成の日を気持ちよく迎えてもらうためにもうひと踏ん張りしていただいて、私も集中して聞かせてもらいたいと思う。そういった二つの協働の実践という素晴らしい試みだと感じた。

グループごとに各委員より、作業結果を報告

4 その他

事務局より連絡

次回の市民会議全体会の開催については期日が近くなったら通知する。
自治基本条例部会については11月に予定している。